

病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月(4月)の予報

平成22年度 予報第8号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

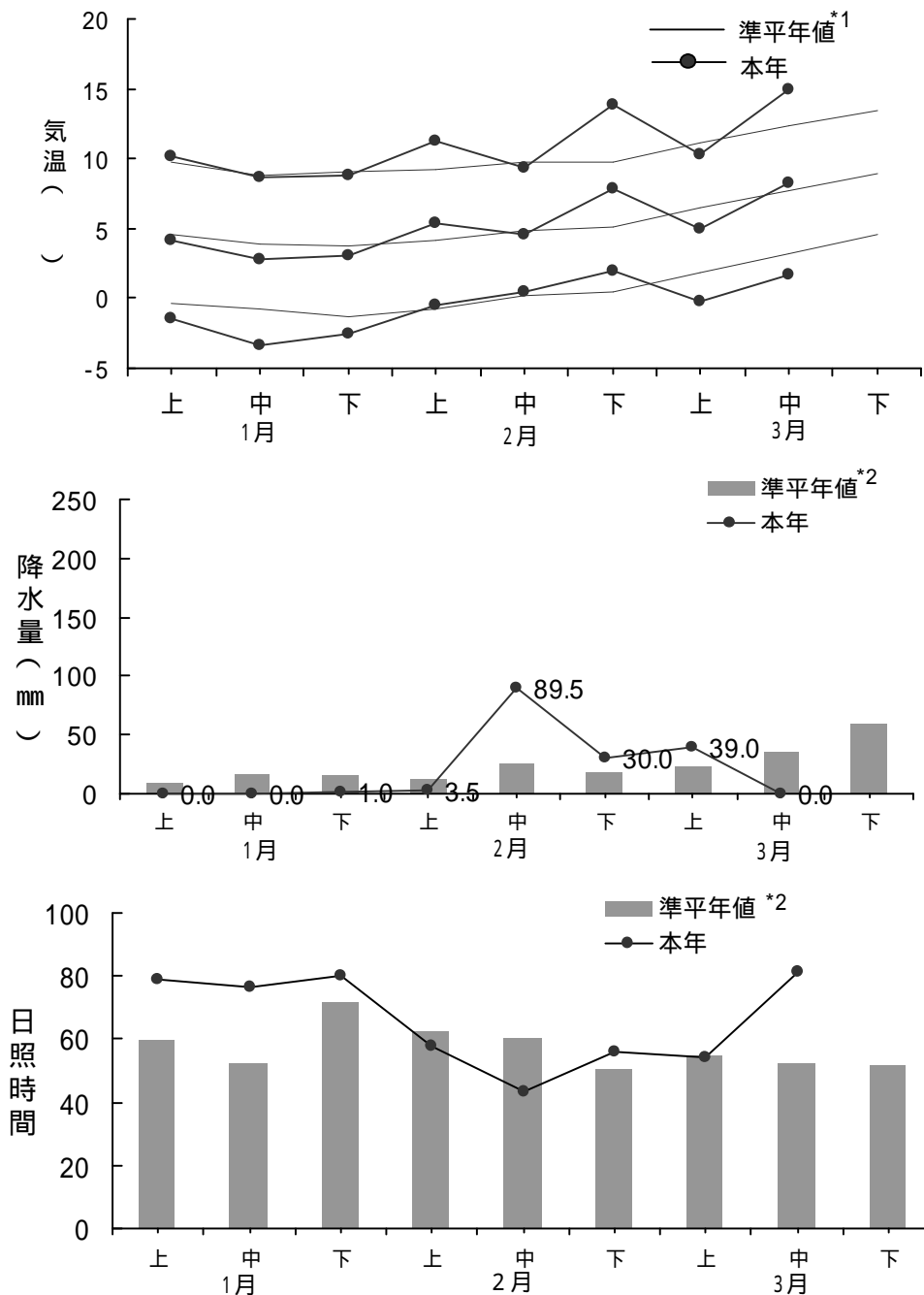
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】2011年3月25日 気象庁 地球環境・海洋部発表，関東甲信地方の1か月予報より

| 確率 | 要素 | 低い(少ない) | 平年並 | 高い(多い) |
|----|------|---------|-----|--------|
| | 気温 | 50 | 30 | 20 |
| | 降水量 | 50 | 30 | 20 |
| | 日照時間 | 20 | 30 | 50 |

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の3月中旬までのデータを示した。
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1979-2000 の平均値, *2: 1987-2000 の平均値

施設トマト灰色かび病の発生が増加傾向にあります！

3月の定期巡回調査において施設トマト灰色かび病の発生が増加傾向にあることが確認されています。

気象予報によると、4月は降水量が少なく、日照時間は多い見込みとなっており発生を助長する条件ではありませんが、例年3月～4月にかけて発生が増加する傾向にあります。

20℃以上、多湿条件下で発生しやすいため、循環扇や暖房機等を活用し、施設内の換気と温度管理に気をつけて下さい。

咲き終わった花卉や発病果、発病葉は早目に取り除きましょう！

薬剤散布の際は、初期防除を徹底し、耐性菌出現防止のため系統の異なる薬剤のローテーション散布を行いましょう！

* 22年度に都内の施設トマトから採取した灰色かび病菌の耐性菌検定を行った結果、トップジン M 水和剤とパウミル水和剤（ゲッター水和剤の1成分）の両方に耐性を持つ菌の割合が昨年度より高くなっています。

【病害虫発生予報】 （各根拠に記した()内記号は発生助長要因の強度を示す）

・果樹の病害虫**1. ナシ赤星病**

予報内容

発生時期 やや遅

発生量 やや少

予報の根拠

1) 昨春の発生はやや少なかった(-)

2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(-)

防除上考慮すべき事項

1) 防除指針に従い適期を逃さないように防除する。

2) 薬剤散布は降雨の前後に行う。

・茶樹の病害虫**1. カンザワハダニ**

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

1) 巡回調査では、発生は少なかった(-)

2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)

防除上考慮すべき事項

1) 4月中旬より個体数が増加すると考えられるので、萌芽前に防除指針に従い防除する。

・野菜の病害虫**1. トマト灰色かび病（施設）**

予報内容

発生量 並

予報の根拠

1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並であった(±)

2) 今後、昼夜間の温度差が大きくなり、本病の増加期に入る(+)

- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
防除上考慮すべき事項
1) 施設内の過湿に注意し、罹病果実などを施設内に放置しない。
2) 防除指針に従い防除する。

2. トマト葉かび病(施設)

- 予報内容
発生量 並
予報の根拠
1) 巡回調査では、平年並であった(±)。
2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
防除上考慮すべき事項
1) 病斑の多発した下葉は除去する。
2) 防除指針に従い防除する。

3. ネギさび病

- 予報内容
発生量 少
予報の根拠
1) 巡回調査では、各地とも発生は少なかった(-)。
2) 昨年、秋期の発生は少なく、越冬菌密度は少ないと考えられる(-)。
3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
防除上考慮すべき事項
1) 発生初期に防除指針に従い防除する。

4. イチゴ灰色かび病(施設)

- 予報内容
発生量 並
予報の根拠
1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である(±)。
2) 今後、昼夜間の温度差が大きくなり、本病の増加期に入る(+)
3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
防除上考慮すべき事項
1) 発病果や枯死葉を放置しない。
2) 摘花、摘葉した傷口からも発病しやすいので注意する。
3) 防除指針に従い防除する。

5. コナガ

- 予報内容
発生量 少
予報の根拠
1) 巡回調査によると、現地圃場での発生量は少ない(-)。
2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。
防除上考慮すべき事項
1) 苗圃では、防虫網などを利用して、成虫の侵入を防止する。
2) 防除指針を参考にして、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

6. コナジラミ類(施設)

- 予報内容
発生量 やや少
予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、各地の発生は少ない(-)。
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後気温の上昇と共に増加するので、防除指針に従い適期防除を行う。
- 2) タバココナジラミが確認された圃場では、バイオタイプQに効果のある薬剤を散布する。

7. ハモグリバエ類(施設)

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、ナモグリバエの発生は各地とも少ない(-)。
- 2) ハウストマトや育苗中の果菜類などのハモグリバエ類の発生は少ない(-)。
- 3) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

8. ホウレンソウおよびコマツナのモモアカアブラムシ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、各地の露地栽培での発生は少ない(-)。
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

9. ネギ・タマネギのネギアブラムシ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると各地での発生は少ない(-)。
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) ネギアブラムシは萎縮病を媒介するので注意する。

10. イチゴのハダニ類(施設)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、各地での発生は少ない(-)。
- 2) 気象予報によれば気温は低く、降水量は少ないと予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後気温の上昇と共に増加するので、防除指針に従い適期防除を行う。

東京都病害虫防除指針：最新版をご覧ください
防除指針オンライン版では平成 22 年版を公開中です
(防除指針正誤表などの最新の情報をホームページ等でご確認下さい)

テレフォンサービス
0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネット上の防除所ホームページ
<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。